

平成24年度

事業報告書

一般財団法人地域社会ライフプラン協会

平成24年度事業報告書

平成24年度は、一般財団法人への移行初年度であったが、各地方公共団体をはじめ会員各位等のご協力を得て、円滑に事務を進めるとともに充実した事業展開を行うことができた。

1 ライフプランセミナー、講演会等の開催

(1) 地方公共団体等主催セミナー及び事業の支援

ア シニア災害ボランティアシンポジウム等事業

東日本大震災による被災自治体においては、本格的な復旧・復興に向け、土木技術職員、建築職員、用地交渉職員等の専門職をはじめとする人材の中長期派遣要請が強くなされているが、現職派遣には自ずから限界がある中で、退職公務員をはじめとする官民のシニア層が有している被災地に直接必要な土木、医療、福祉などの専門的分野に加え、その豊富な人生経験、実務経験を生かした生活相談、組織マネジメントなど、即戦力としての活動が可能であることに着目し、これらシニア層の活動に資するよう「シニア災害ボランティア」をテーマに、次の6道県と共催し、ボランティア、行政関係者、住民等が参加し、課題の指摘、今後のボランティア活動の展開、ネットワークの構築について意見交換などを通じ、ライフプランの生きがいを創出する社会貢献活動として地域に還元する支援を行った。

○ 北海道ブロック

- ① 主 催：北海道・中国黒竜江省人民政府・当協会
- ② 開催日・会場：平成24年6月12日（火） 札幌パークホテル
- ③ テーマ：日中国交正常化40周年記念
- ④ パネルディスカッション「むすぶ ～日中交流とシニア災害ボランティア～」
コーディネーター：橋本 登代子氏（ボイスオブサッポロ 代表取締役）
パネリスト：池田 誠氏（財団法人北海道国際交流センター 事務局長）
時 光氏
(NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会 事務局長)
長崎 武巳氏（奥尻島津波語りべ隊 奥尻町住民課長補佐）
山田 輝昭氏（旭川市地区赤十字防災ボランティア会 会長）
- ⑤ 参加者数：200人
- ⑥ 後 援：北海道日中友好協会、中国駐札幌領事館、独立行政法人国際交流機構、北海道市長会、北海道町村会

○ 東北ブロック

- ① 主 催：山形県・寒河江市・当協会
- ② 開催日・会場：平成25年1月18日（金） 寒河江市市民文化会館
- ③ テーマ：シニア災害ボランティアシンポジウム 「シニア世代による被災地支援」
講演1：「シニア災害ボランティアを考える」
講師：小松 洋吉氏（東北福祉大学 教授）

講演2：「東日本大震災に係る石巻市社会福祉協議会の取り組みについて
～ボランティアに求められるもの～」

講師：伊藤 勝弘氏(石巻市社会福祉協議会 災害復興支援対策課長)

④ 参加者数：300人

○ 関東ブロック

① 主催：千葉県・地方職員共済組合千葉県支部・県庁生活協同組合・当協会

② 開催日・会場：平成25年1月7日(月)、8日(火) ホテルポートプラザちば

③ テーマ：「シニアと災害ボランティア」

講師：栗田 暢之氏(NPO法人レスキューストックヤード 代表理事)

④ 参加者数：400人

○ 中部ブロック

① 主催：石川県・財団法人石川県県民ボランティアセンター・当協会

② 開催日・会場：平成24年11月26日(月) 石川県地場産業振興センター

③ テーマ：シニアライフプラン講演会

「シニアと災害ボランティア —東日本大震災の教訓を踏まえて—」

講師：室崎 益輝氏(関西学院大学総合政策学部 教授)

④ 参加者数：130人

⑤ 後援：石川県市長会、石川県町村会

○ 近畿ブロック

① 主催：和歌山県・当協会

② 開催日・会場：平成25年2月17日(日) ホテルグランヴィア和歌山

③ テーマ：災害ボランティアシンポジウム

基調講演「シニア世代と災害ボランティア活動」

講師：出口 寿久氏

(文部科学省初等中等教育局 参事官付学校運営支援企画官)

パネルディスカッション：「災害ボランティアって難しい？」

コーディネーター：出口 寿久氏

パネリスト：梅木 直幸氏(日本防災士会理事和歌山県 支部長)

泉 康夫氏(紀伊半島大水害のボランティア経験者)

山下 真理氏(ボランティア経験者)

岡本 晃記氏(和歌山県社会福祉協議会 長寿社会推進部長)

④ 参加者数：80人

○ 中国・四国ブロック

① 主催：徳島県・当協会

② 開催日・会場：平成24年11月21日(水) 徳島市シビックセンター

③ テーマ：シニア災害ボランティアシンポジウム

基調講演：「シニアが守る！地域の防災」

講師：伊藤 道司氏(NPO法人ひょうご地域防災サポート隊代表)

パネルディスカッション：「これからのシニア災害ボランティア」

コーディネーター：伊藤 道司氏

パネリスト：日開野 博氏(四国大学短期大学部 教授)

阪本 真由美氏((公財)ひょうご震災記念 21世紀機構人と防災
未来センター 主任研究員)

澁谷 良臣氏(徳島県退職者会 副会長)

佐和 良佳氏(社会福祉法人美馬市社会福祉協議会事務局長)

④参加者数：120人

なお、国際交流基金の助成金を充当し10月24日に黒竜江省ハルビン市で北海道、黒竜江省人民政府及び当協会との共催で予定していた「シニア災害ボランティアシンポジウム」は、黒竜江省人民政府から秋に国家体制が変わることに伴い担当部局の業務が想像以上に多忙となっていることにより開催困難との連絡を受け、北海道庁とも協議しその開催を中止した。

イ ライフプランオープンセミナーの共催事業

ライフプランセミナーの一層の普及を図るため、地域おこし、地域づくりを協働して行う地方公務員、商店・中小零細企業の職員を対象として、各地方公共団体と協会が共催でライフプランオープンセミナーを開催する団体を募集し、開催に必要なカリキュラムの助言や専門講師の無償派遣、世代別ライフプランガイドブックの無償提供等の総合的支援を行うこととしていたが、東日本大震災後の復旧・復興支援に重点をおくためシニア災害ボランティアシンポジウムに変更した。

ウ ライフプランセミナーの共催事業

地方公共団体や共済組合と当協会が共催でライフプランセミナーを開催する団体を募集し、共催希望の申し込みがあった31団体(延べ47セミナー)に対し、開催に必要なカリキュラムの助言や健康づくり等の専門講師や当協会職員及び賛助会員企業職員を講師として無償派遣するとともに、世代別ライフプランガイドブックの無償提供等の総合的支援を行った。

エ 講師派遣事業(無償派遣)

地方公共団体及び共済組合が主催し、参加者が50名を超えるライフプランセミナーを支援するため、50団体(延べ62セミナー)に対し、開催に必要なカリキュラムの助言や講師として当協会職員及び賛助会員企業職員を無償で派遣した。

オ 小規模ライフプランセミナー開催支援事業

地方公共団体及び共済組合が主催するライフプランセミナー(上記エを除く。)を支援するため、7団体(延べ9セミナー)に対し、当協会職員を講師(講師料無償)として派遣した。

(2) セミナーの開催

ア ライフプラン基礎体験セミナーの開催

地方公共団体及び共済組合の新任の福利厚生担当者を対象に生涯生活設計の円滑な実施に資する一方策としてのライフプランセミナーの企画と運営にかかる基本的知識を習得することを目的として、次のとおり開催した。

なお、共済年金の支給年齢の引き上げや定年後の就労と収入確保が課題となっていることに対応するため、職務を見直しこれからのキャリアデザインを考えるプログラムを採り入れた。

① 開催日：平成24年7月12～13日

② 会場：東京グリーンパレス(東京都千代田区二番町)

③ 講演1：「ライフプランセミナーの企画と運営」

講師：当協会職員

講演2：「こころとカラダのセルフケア」

講師：川上 麻子氏(エンドースユアライフ代表)

講演3：「地方公務員のためのキャリアデザイン」

講師：小杉 俊哉氏

(THS経営組織研究所代表社員 慶應義塾大学SFC研究所上席研究員)

講演4：「家庭経済設計のすすめ」

講師：谷 淳一氏(明治安田ライフプランセンター(株)課長)

講演5：「ライフプラン計画表の作成」

講師：当協会職員

④ 参加者数：66名

イ ライフプラン専門セミナーの開催

地方公共団体及び共済組合の福利厚生担当者を対象に、各団体におけるライフプランセミナー開催に資するカリキュラム策定の参考に資するための生涯生活設計の専門知識の習得を目的として、次により開催した。

① 開催日：平成25年1月25日

② 会場：ルポール麹町 (東京都千代田区平河町)

③ 講演1：「低金利時代の資産運用について～退職後の生活設計のために～」

講師：馬淵 輝夫氏

(NPO法人投資と学習を普及・推進する会 証券カウンセラー)

講演2：「貧乏神を追い出せ 福の神に好かれる「しあわせ家計」を作ろう」

講師：藤川 太氏(家計の見直し相談センター ファイナンシャルプランナー(CFP))

講演3：「生活習慣病と食とのかかわりについて」

講師：饗場 直美氏

(神奈川工科大学応用バイオ科学部栄養生命科学科 教授)

講演4：「地方公務員共済年金制度の改正の動向について」

講師：春原 善幸氏(総務省自治行政局公務員部福利課 企画係長)

④ 参加者数：50名

ウ ライフプラン相談業務セミナーの開催

地方公共団体及び共済組合の担当者（主にライフプラン相談員）を対象に、ライフプラン相談員が必要とする相談技法の向上、専門知識の習得、参加者相互の情報交換等を通じ相談実例や相談の傾向を把握するなど、相談業務の充実を資することを目的として、次により開催した。

- ① 開催日：平成24年9月7日
- ② 会場：ルポール麹町（東京都千代田区平河町）
- ③ 講演1：「家庭経済設計に関する相談事例と傾向について」
講師：清水 香 氏((株)生活設計塾クルー 取締役)
- 講演2：「相談員業務の基礎知識と技法」
講師：平野 慶子氏((株)パトス 講師)
- 講演3：「共済年金に関する概要について」
講師：横山 泰仁氏(地方職員共済組合事務局 年金相談室長)
- ④ 参加者数：27名

(3) ライフプラン講演会の開催

地方公務員等に対し地域社会活動への自発的な参加を促すとともに地域社会の活性化の推進に資するため、本年度は地域活動における基礎となる健康な身体のかん養に資するよう、次のようにライフプラン講演会を開催した。

- ① 開催日・会場：平成24年5月18日 ルポール麹町(東京都千代田区平河町)
- ② テーマ・講師：「和食で心と体を立て直せ」
講師：小泉 武夫氏(東京農業大学 名誉教授)
- ③ 参加者数：160名

2 ライフプランについてのガイドブック、情報誌等の作成

(1) 世代に合わせたガイドブックの改訂

地方公務員等が生涯生活設計を立てる際の参考となる生活創造(30歳代)、生活充実(40歳代)、退職準備プログラム(50歳代)の3種類のガイドブックについて全面的に見直しを行った全改訂版を作成し、地方公共団体及び共済組合に配布した。

また、ガイドブックに添付されているCD-ROM「ライフプラン支援プログラム」も併せて改訂を行った。

(2) ライフプランガイドブックの作成

一般財団法人への移行に合わせて当協会の事業の柱の一つとして加えることとなった、地方公共団体と地域おこし、地域づくりを協働して行う商店、中小企業等に勤務する職員等の生涯生活設計を立てる際の参考に資するためのライフプランガイドブックを作成し、地方公共団体等に配布した。

(3) 健康づくりのためのガイドブック

シニアの健康づくり、充実した生活をおくるために役立ててもらうため、健康増進策等を盛り込んだ「セルフ健康チェック～すこやかなセカンドライフへのプランをつくる

う～」を増刷し、地方公共団体及びライフプランセミナー等で配布した。

(4) くらしを豊かにするハンドブックの作成等

地方公務員のライフプランハンドブック「わかりやすい年金」について、退職共済年金を中心とした内容を見直し厚生年金及び国民年金の制度も採り入れ、総合的に解説を施したことにより広く一般の方々に利用されるように全改訂し、地方公共団体及び共済組合に配布するとともに、ライフプランセミナー共催団体の参加者に配布した。

3 視聴覚教材の提供

○ 視聴覚教材の提供

ライフプランに関する視聴覚教材として保管しているライフプランに関する視聴覚教材（DVD、ビデオテープ）について、ライフプランセミナー等を行う地方公共団体、共済組合及び地方公共団体と地域おこし、地域づくりを協働して行う団体に対し43団体、延べ73回の貸出しを行った。

4 普及啓発活動

(1) ライフプラン情報誌「ALPS」の発行

ライフプランに関する情報を幅広く提供するため、頁数を増やし内容の充実を図ったライフプラン情報誌「ALPS」を年4回発行し、地方公共団体及び共済組合に配布した。

(2) ホームページの運用及び協会パンフレットの作成

ア ホームページの運用

ホームページの内容の充実を図り、地方公務員等向けのライフプランに関する情報を幅広く提供した。

イ パンフレットの作成

協会パンフレットを作成し、各種セミナー等において幅広く配布しライフプランの普及啓発を行った。

5 出版物販売事業

以下の出版物について、希望者に販売した。

| | |
|-------------------|----------|
| ① 世代に合わせたガイドブック | 21,060 部 |
| ② ライフプランガイドブック | 29 部 |
| ③ わかりやすい年金 | 4,671 部 |
| ④ 健康づくりのためのガイドブック | 948 部 |
| ⑤ ライフプラン情報誌「ALPS」 | 44 部 |

※ 事業番号1から4は、公益目的支出計画に基づく継続事業である。